

## 静岡県留学生等交流推進協議会

|      |  |          |       |       |
|------|--|----------|-------|-------|
| 事業名  | 話っ、輪っ、和っ！2012 大発見、静岡！                          |          |       |       |
| 実施期間 | 平成24年5月20日～平成25年1月27日                          |          |       |       |
| 場 所  | 静岡大学、静岡県立大学、浜松医科大学、焼津青少年の家、日本平、久能山東照宮、静岡文化芸術大学 |          |       |       |
| 参加者  | 外国人留学生   | 地域住民・企業等 | その他   | 合計    |
|      | 134 名  | 17 名     | 129 名 | 280 名 |

### <実施内容>

大学生(留学生、日本人学生)が大学生として興味を持っている事柄を、出身地に関係なく話し合う国際交流討論会です。大学生生活や平和などテーマを決め、留学生、日本人学生、地域住民が話し合います。また、バスツアーやゲーム、夕食会を通して相互交流を深めます。



話っ、輪っ、和っ！2012 参加者集合写真

(1)実行委員会(5/20、6/10、7/15、8/19、9/9、10/5、6、11/25、1/27)

5大学から留学生・日本人学生13人が集まり、準備を始めました。討論内容をや進行を検討したり、参加者募集方法を考えたりしました。この写真はアイスブレイキングのレクリエーション試行中です。

(2)Shizuoka Cultural Tour(10/21)

留学生73人、日本人学生27人が一日中楽しく交流しました。静岡県と言えば「お茶」ですが、日本人学生も茶摘みは初めてです。留学生と一緒に、茶摘みを体験し、お茶の天ぷらもいただきました。東照宮では結婚式も！静岡県国際交流協会と協力して実施しました。

(3)「話っ、輪っ、和っ！」(12/8,9)

メインイベントの合宿国際交流討論会です。今年は県内10大学から留学生35人、日本人学生36人参加し、同じ大学生として語り合いました。出身が違って、同じ大学生だから分かり合えることがたくさんありました。話し合いだけでなく、レクリエーションや夕食会など、寝食をとともにすることで、お互いを深く理解することができました。

(4)世界学生軍縮会議(12/15)

静岡市で開催された、第24回国連軍縮会議の地元自主事業の1つとして、ベトナム、ミャンマー、マレーシア、中国、日本の大学生が、それぞれが考える平和と、そのように考えるようになった過程を考察しました。この会議の成果を、翌年2/10の第24回国連軍縮会議特別セッションで発表しました。

### <参加者からのコメント>

張 徳旭(中国、12/8,9「大学生生活、新視点で見る！」グループリーダー)/ZHANG DEXU

色々な国からの大学生と大学生活について討論するのがとても楽しかった。自分の事前の予想より面白い討論ができた。他の人の考え方、視角を知って、新たな考え方を身につけてから、もう一回自分の大学生活を見直す事の面白さを今回の討論で皆一緒に体験できてよかったと思う。

丸山 翼(日本、12/8,9「静岡を世界に自慢しよう！」グループに参加)/TSUBASA MARUYAMA

静岡を宣伝するための広告作成を最終目標とし、宣伝のターゲットは外国人として討論を進めていきました。外国人を惹きつけるにあたり、日本特有のものでありながらアジアを中心とする諸外国の人たちにも親和的なものを探すのは難しかったです、今までにない良い経験になりました。